

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 01土木管理費

目 01土木総務費

事務事業番号 08010101

事業名		土木車両整備事業		担当部署	都市建設部 維持課						
根拠法令		道路法									
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価				
	予算・決算額(A)	77,774	77,774	-			<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>				
	(A)の内訳										
	国道支出金										
	地方債	77,700	77,700								
	その他										
	一般財源	74	74								
人件費(B)	2,161	2,161	-								
事業費計(A+B)	79,935	79,935	-								
事業の目的	土木車両（除雪グレーダ、除雪ドーザ）の老朽化に伴う更新です。										
事業の内容	<p>1 冬季の除雪作業を行う除雪グレーダを更新しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>正面</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>側面</p> </div> </div> <p>2 夏季の道路維持作業、冬季の除雪作業を行う除雪ドーザを更新しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>正面</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>側面</p> </div> </div>										
実施結果 (活動指標)	指標名			単位	R4年度	R5年度	R6年度				
	土木車両の更新			台	1	2	2				
項目評価	高 → 低				評価の理由						
	4	3	2	1							
	有効性	●							土木車両は、道路交通を確保し、市民の暮らしを守るために必要であり、市民の安全・安心な生活に大きく寄与しているため、「4」としました。		
	効率性	●							老朽化した土木車両の更新を図ることで、維持管理費の抑制及び車両の安全性が向上することができたため、「4」としました。		
公平性	●				市民の安全・安心な生活を守るためには、土木車両整備は必要不可欠であり、今後も継続して実施していく必要があるため、「4」としました。						
事業の課題 今後の方向性	今後も、市所有の土木車両整備を引き続き行い、安定的な道路維持が遂行され、市民の安全・安心な生活を守るよう整備を進めてまいります。						事業終了の 予定の有無				
							無				
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 01土木管理費

目 02建築指導費

事務事業番号 08010201

事業名		マイホーム建設促進特例融資事業		担当部署	都市建設部 総務課											
根拠法令																
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価									
	予算・決算額(A)	51,600	43,300	56,700			B									
	(A)の内訳	国道支出金														
		地方債														
		その他	51,600	43,300				56,700								
		一般財源														
	人件費(B)	72	72	72												
事業費計(A+B)	51,672	43,372	56,772													
事業の目的	<p>国の景気浮揚策に連動した経済活性化対策の一環として、市民の持ち家建設を促進し、住環境と福祉の向上を図るため、市内金融機関の協力を得て平成11年から13年にかけて実施した事業です。</p>															
事業の内容	<p>融資の受付は既に終了しましたが、市民に融資を行った金融機関に対する預託事業は継続しています。</p> <p>事業の内容は、金融機関の貸付残高に協調倍率（市の預託金と金融機関資金の割合）を乗じた金額を4月に預託、以後、毎月の返済額に応じて預託金の追加又は戻入を行い、年度末に預託金を全額返還させるというものです。</p> <p>また、年度当初の協調倍率は1月末時点の長期プライムレートにより決定しますが、7月末時点のレートに当初比で±0.3%以上の増減があった場合は、10月に協調倍率を変更し、預託金の調整を行います。</p> <p>令和7年3月報告に基づく金融機関融資状況と令和6年度預託実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>金融機関</th> <th>融資件数</th> <th>貸付残額 (千円)</th> <th>協調倍率 (市：金融機関)</th> <th>預託額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>苫小牧信用金庫 ほか7行</td> <td>174</td> <td>187,595</td> <td>1：3.3</td> <td>43,300</td> </tr> </tbody> </table>						金融機関	融資件数	貸付残額 (千円)	協調倍率 (市：金融機関)	預託額 (千円)	苫小牧信用金庫 ほか7行	174	187,595	1：3.3	43,300
金融機関	融資件数	貸付残額 (千円)	協調倍率 (市：金融機関)	預託額 (千円)												
苫小牧信用金庫 ほか7行	174	187,595	1：3.3	43,300												
SDGs17の目標																
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度										
	預託額（決算額）		円	16,600	49,900	43,300										
項目評価	高 → 低		評価の理由													
	4	3	2	1												
有効性	●				約1,200件の利用があり、市民の持ち家建設の促進が図られました。また、融資を行う金融機関の負担軽減に必要な事業であることから、「4」としました。											
効率性		●			預託金は全額戻入されるため市の財政的な負担はほとんどありません。一方、融資の償還期限まで預託を行うため、事務処理が長期に亘ることから、「3」としました。											
公平性		●			対象が本事業を利用して融資を受けた市民に限定されることから、「3」としました。											
事業の課題 今後の方向性	市民に融資を行った金融機関の負担軽減のため、今後も必要な事業です。					事業終了の 予定の有無										
						有 (令和19年度)										
特記事項	当初、融資の返済期限は最長で25年でしたが、金融円滑化法の施行に伴い11件で返済期間の延長が行われ、現在は最長で令和19年までとなっています。															

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 01土木管理費

目 02建築指導費

事務事業番号 08010202

事業名		住宅耐震・リフォーム支援事業		担当部署	都市建設部 建築指導課					
根拠法令										
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価			
	予算・決算額(A)	11	11	6				<div style="text-align: center;"> <p>有効性</p> <p>公平性 効率性</p> </div>	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div>	
	(A)の内訳	国道支出金								
		地方債								
		その他								
		一般財源	11	11						6
	人件費(B)	72	72	72						
事業費計(A+B)	83	83	78							
事業の目的	この事業は、平成21年度から平成23年度に実施した住宅リフォーム支援事業を利用して金融機関から融資を受けた市民に対し、その利子の一部を利子補給金として補助することを目的とします。									
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>12 つくる責任 つかう責任</p> </div> </div> <p>平成21年度から平成23年度に実施した事業で、住宅の改良に必要な資金を金融機関から融資を受けた市民に対し、その利子の一部を苫小牧市が利子補給金として補助する事業です。（融資限度額500万円（耐震改修を行う場合は650万円）で金融機関金利のうち1.5%を上限に市が負担します。）</p>									
実施結果 (活動指標)			単位	R4年度	R5年度	R6年度				
	住宅耐震・リフォーム支援事業の利子補給件数	件		3	1	1				
項目評価	高 → 低		評価の理由							
	4	3	2	1						
有効性	●				平成21年度から平成23年度に実施した住宅リフォーム支援事業を利用した市民に対して利子補給を行うために必要な事業であることから、「4」としました。					
効率性		●			この事業では、3年間で約5億円のリフォーム工事が実施され、これに対する市の利子負担見込額は約2,800万円と費用対効果が大きい事業となっていますが、市の利子補給期間が長期に渡ることから、「3」としました。					
公平性		●			平成21年度から平成23年度に実施した住宅リフォーム支援事業を利用した市民のみが対象となっていることから、「3」としました。					
事業の課題 今後の方向性	平成21年度から平成23年度に実施した住宅リフォーム支援事業を利用した市民に対して、市の利子補給が終了する予定である令和8年度まで事業を継続する必要があるために今後も必要な事業です。					事業終了の 予定の有無				
						有 (令和8年度)				
特記事項	平成21年度から平成23年度に実施した事業で、現在は市が利子補給のみを行なっています。									



事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 01土木管理費

目 02建築指導費

事務事業番号 08010203

事業名		住宅リフォーム促進事業		担当部署	都市建設部 建築指導課		
根拠法令							
予算・決算 (千円)	区分		R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価 	総合評価 A
	予算・決算額(A)		14,013	11,682	14,679		
	(A)の内訳	国道支出金	972		1,314		
		地方債					
		その他					
		一般財源	13,041	11,682	13,365		
	人件費(B)		720	720	720		
	事業費計(A+B)		14,733	12,402	15,399		
事業の目的		住宅耐震・リフォーム支援事業は、市民が快適な住生活を営むための住宅リフォームを支援することを目的とし、木造住宅耐震改修等補助金交付事業は、木造住宅の耐震改修等の費用の負担を軽減し、耐震化を促進すること目的としています。					
事業の内容 SDGs17の目標		  <p>1 住宅耐震・リフォーム支援事業 住宅の改良に必要な資金を金融機関から融資を受けた市民に対し、その利子の一部を苫小牧市が利子補給金として補助します。（融資限度額500万円（耐震改修又は省エネ改修を行う場合650万円）で金融機関金利のうち1.5%を上限に市が負担します。）</p>  <p>2 木造住宅耐震改修等補助金交付事業 木造住宅の耐震診断や耐震改修工事の負担を軽減し、住宅の耐震化を促進するための費用の一部を補助金として助成します。（耐震診断又は耐震設計を行なう場合は10万円を上限に、耐震改修を行う場合は60万円を上限に市が補助します。）</p>					
実施結果 (活動指標)				単位	R4年度	R5年度	R6年度
住宅耐震・リフォーム支援事業の利子補給件数				件	91	80	80
木造住宅耐震改修等補助金交付事業の利用件数				件	0	0	0
項目評価		高 → 低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性		●				住宅耐震・リフォーム支援事業は、市民に浸透した事業であり、令和6年度も予定する融資工事額に達しています。市民及び市内リフォーム請負業者において広く求められる事業であることから、「4」としました。	
効率性			●			令和6年度の事業では、約2億円のリフォーム工事が実施され、これに対する市の利子負担見込額は約1,200万円と費用対効果が大きい事業となっていますが、市の利子補給期間が長期に渡ることから、「3」としました。	
公平性		●				融資を必要とし、申し込み要件を満たす市民の全てを受け付けることができ、また、事業施工者へ多大な波及効果も見込めることから、「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		住宅耐震・リフォーム支援事業は、市民に浸透した事業であり、地域経済への波及効果も大きく、住宅の長寿命化の観点からも事業を実施していきたいと考えています。 木造住宅耐震改修等補助金交付事業は、住宅の耐震改修等の促進を図るために必要な事業であることから、今後も事業を実施していきたいと考えています。					事業終了の 予定の有無
							無
特記事項							

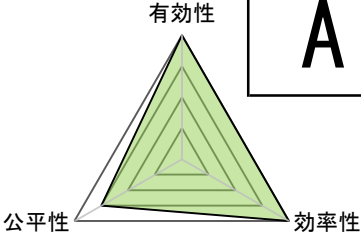

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 01道路橋りょう維持費

事務事業番号 08020101

事業名		雪氷対策費		担当部署	都市建設部 維持課				
根拠法令		道路法							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価		
	予算・決算額(A)	427,194	427,193	400,000			<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>		
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他	100,000					100,000	
		一般財源	327,194	427,193				300,000	
	人件費(B)	17,534	17,534	17,534					
	事業費計(A+B)	444,728	444,727	417,534					
事業の目的		除雪や路面凍結等に伴う渋滞、スリップ、歩行困難などの交通障害を解消し、安全で快適な交通機能を確保するため、車道及び歩道の除雪や凍結防止剤散布を行うものです。							
事業の内容 SDGs17の目標		 <ol style="list-style-type: none"> 凍結防止剤等の購入 車道や歩道の凍結路面対策として、凍結防止剤やすべり止め砂の購入を行いました。 除雪作業業務 積雪量、雪質、路面状況、気象予報などの情報収集を行い、積雪量10cm以上を目安として除雪作業を行いました。 除雪車運行管理システムの運用 市民に除雪作業状況をわかりやすく伝えるため、ホームページ上で除雪車運行管理システムの一般公開を行いました。 また、作業が遅れている地域への除雪協力の要請を行い、作業時間の短縮を図りました。 							
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度		
		除雪作業		回	31	25	8		
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性		●				市民の冬の暮らしを守るため、除雪作業は欠かすことができないため、「4」としました。			
効率性		●				除雪車運行管理システムを活用し、作業が遅れている地域への除雪車の追加配置を行うなど、効率的な除雪作業を行い、作業時間の短縮を図っているため、「4」としました。			
公平性			●			道路パトロールにより路面状況の把握のほか、気象予報などの情報収集により除雪作業を行っていることから「3」としました。			
事業の課題 今後の方向性		この事業は市民生活に直結する重要な事業であるため、近年頻発している大雪に備え、除雪機械の台数確保や配置見直しなど、体制の強化に取り組んでまいります。					事業終了の 予定の有無		
							無		
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号 08020201

事業名		社会資本整備総合交付金事業（道路整備事業）			担当部署	都市建設部 維持課			
根拠法令		道路法							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	60,199	59,362	101,594				<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>	
	(A)の内訳	国道支出金	33,444	33,444					56,400
		地方債	6,200	6,200					17,800
		その他							
		一般財源	20,555	19,718					27,394
	人件費(B)	3,601	3,601	3,601					
	事業費計(A+B)	63,800	62,963	105,195					
事業の目的		<p>快適で潤いのある都市生活と活発な社会・経済活動に欠かすことのできない道路交通網の整備を、高齢者の増加など社会情勢の変化や新たな利用ニーズに配慮しながら促進するほか、老朽化が進む道路などの健全度を把握しながら、効率的・計画的な改築・修繕を行い、安全・安心な道路交通網を確保します。</p>							
事業の内容		<p>【舗装修繕】 老朽化した舗装の修繕を実施しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(着工前)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(完成)</p> </div> </div> <p>【道路附属物点検】 道路照明の点検を実施しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>開口部</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>支柱</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>支柱基部</p> </div> </div>							
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度		
		道路の改築・修繕		路線(km)	1路線(0.2km)	1路線(0.2km)	1路線(0.1km)		
		道路附属物点検		基	248	1,010	664		
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性		●				老朽化が進む道路施設を計画的に改築・修繕を行うことで安全で円滑な道路交通を確保することができることから「4」としました。			
効率性			●			道路を維持するには高額な事業費が必要となるため、整備効果と経済的なバランスを図り、効率的な事業推進に取り組んでいることから「3」としました。			
公平性		●				幹線に位置付けられる道路は公共性が高く、市民の生活や経済活動に欠かせない重要な公共施設であり、市民に限らず多くの人に利用されることから「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		項目評価のとおり、おおむね目的に適った事業が展開できており、本事業を進めることが市民サービスに直結することから、効率的かつ効果的な事業展開を進めてまいりたいと考えています。					事業終了の 予定の有無		
							無		
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号

08020202

事業名		単独道路舗装事業		担当部署	財政部 管財課、都市建設部 道路建設課						
根拠法令		道路法、苫小牧市道路の構造の技術的基準に関する条例									
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価				
	予算・決算額(A)	481,347	481,347	521,200			<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>				
	(A)の内訳	国道支出金									
		地方債	433,100	432,700				489,300			
		その他									
		一般財源	48,247	48,647				31,900			
		人件費(B)	60,348	60,348				60,348			
	事業費計(A+B)	541,695	541,695	581,548							
事業の目的		快適で潤いのある都市生活と活発な社会・経済活動に欠かすことのできない道路交通網の整備を、高齢者の増加など社会情勢の変化や新たな利用ニーズに配慮しながら、主に生活道路における未舗装道路等を対象に、安全・安心な道路交通網を確保します。									
事業の内容		未舗装道路等の舗装整備 路面状態が悪く、雨水処理されていない未舗装道路等を整備しました。									
SDGs17の目標											
		【整備前】		【整備後】							
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R5年度	R6年度			
		未舗装道路等の整備			路線(km)	27路線(4.0km)	25路線(3.4km)	26路線(3.2km)			
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							未舗装道路等を計画的に整備することにより、安全・安心な道路交通網が確保できることから「4」としました。		
効率性			●						より経済的な整備方法を検討し事業実施することで、将来にわたり整備効果が得られることから「3」としました。		
公平性		●				まちかどミーティングなどの地域要望をもとに、現地確認など整備路線の検討を十分に行っていることから「4」としました。					
事業の課題 今後の方向性		項目評価のとおり、おおむね目的に合った事業が展開できています。本事業は、まちかどミーティングなど地域住民から特に要望の多い事業であるため、社会情勢の変化や利用ニーズに配慮しながら、計画的かつ効率的に整備を進めてまいります。					事業終了の 予定の有無 無				
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号 08020203

事業名		単独道路新設改良事業			担当部署	都市建設部 維持課		
根拠法令		道路法						
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価	
	予算・決算額(A)	799,347	788,747	694,650			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>	
	(A)の内訳	国道支出金						
		地方債	588,500	576,200				466,400
		その他						
		一般財源	210,847	212,547				228,250
	人件費(B)	23,046	23,046	23,046				
事業費計(A+B)	822,393	811,793	717,696					
事業の目的	社会情勢の変化や新たな利用ニーズに配慮し、老朽化が進む道路などの健全度を把握しながら、改築・修繕を行い安全・安心な交通道路網を確保します。							
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> </div> <ol style="list-style-type: none"> 1 区画線標示業務 : 磨耗・剥離した区画線の再標示 2 アスファルト舗装補修業務 : 路面に生じた穴などの損傷をパッチングにより部分的に補修 3 道路清掃業務 : 人力による歩道や中央分離帯等の清掃 4 道路施設補修業務 : 雨水柵の設置、縁石等道路付属物の補修・改良 5 舗装道路改修工事 : 舗装、縁石などの老朽化した道路施設を全面的に改修 6 舗装道路修繕工事 : 老朽化した舗装の表層部を全面的に修繕 7 道路附属物修繕工事 : 自立式道路照明灯の更新 8 街路灯LED化改修工事 : 水銀灯やナトリウム灯の街路灯をLED照明に改修 9 調査・設計業務 : 地質調査、路面調査（非破壊）、設計業務 							
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度		
	老朽化した舗装道路の改修		km	6	4	3		
項目評価	高 → 低		評価の理由					
	4	3	2	1				
有効性	●				老朽化が進む道路施設を計画的に改築・修繕を行うことで安全で円滑な道路交通を確保することができることから「4」としました。			
効率性		●			道路を維持するには高額な事業費が必要となるため、整備効果と経済的なバランスを図り、効率的な事業推進に取り組んでいることから「3」としました。			
公平性	●				生活道路及び幹線・準幹線道路は市民の生活に密着する公共施設であり、多くの市民に必要とされる施設であることから「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性	項目評価のとおり、おおむね目的に適った事業が展開できており、本事業を進めることが市民サービスに直結することから、効率的かつ効果的な事業展開を進めてまいりたいと考えています。						事業終了の 予定の有無	
							無	
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号 08020204

事業名		特定防衛施設周辺整備調整交付金事業			担当部署	都市建設部 維持課						
根拠法令		道路法										
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価					
	予算・決算額(A)	63,283	63,283	70,000			A					
	(A)の内訳	国道支出金	36,907	36,907				30,000				
		地方債	19,700	19,700				30,000				
		その他										
		一般財源	6,676	6,676				10,000				
	人件費(B)	2,161	2,161	2,161								
	事業費計(A+B)	65,444	65,444	72,161								
事業の目的		快適で潤いのある都市生活と活発な社会・経済活動に欠かすことのできない道路交通網の整備を、高齢者の増加など社会情勢の変化や新たな利用ニーズに配慮しながら促進するほか、老朽化が進む道路などの健全度を把握しながら、効率的・計画的な改築・修繕を行い、安全・安心な道路交通網を確保します。										
事業の内容 SDGs17の目標  		【舗装修繕】 老朽化した舗装の修繕を実施しました。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>(着工前)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>(完成)</p>  </div> </div>										
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R5年度	R6年度				
		勇弘川西通道道路改修工事			m	-	125	121				
項目評価		高 → 低				評価の理由						
		4	3	2	1							
		有効性	●							老朽化が進む道路施設を計画的に改築・修繕を行うことで安全で円滑な道路交通を確保することができることから「4」としました。		
		効率性	●							整備効果は大きく、効率的な事業推進に取り組んでいることから「4」としました。		
公平性	●				幹線に位置付けられる道路は公共性が高く、市民の生活や経済活動に欠かせない重要な公共施設であり、市民に限らず多くの人に利用されることから「4」としました。							
事業の課題 今後の方向性		項目評価のとおり、おおむね目的に適った事業が展開できており、本事業を進めることが市民サービスに直結することから、効率的かつ効果的な事業展開を進めてまいりたいと考えています。						事業終了の 予定の有無 無				
特記事項												

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号 08020205

事業名		単独道路交通安全対策事業			担当部署	都市建設部 道路建設課、教育部 学校教育課				
根拠法令		道路法								
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価			
	予算・決算額(A)	18,358	17,864	15,209			<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>			
	(A)の内訳	国道支出金								
		地方債	16,500	16,000					13,600	
		その他								
		一般財源	1,858	1,864					1,609	
		人件費(B)	8,642	8,642					8,642	
	事業費計(A+B)	27,000	26,506	23,851						
事業の目的		市内各小中学校の通学路危険箇所について、対策等を行います。								
事業の内容		<p>小中学校指定通学路の交通安全対策 横断歩道のカラー化や防護柵設置などを実施しました。</p> <p>SDGs17の目標</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【整備前】</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【整備後】</p>  </div> </div>								
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R5年度	R6年度		
		小中学校指定通学路の交通安全対策			校	5	6	4		
項目評価		高 → 低				評価の理由				
		4	3	2	1					
		有効性	●				車両速度抑制対策をはじめとする交通安全対策を実施することにより、通学路の安全・安心な通行が確保できることから「4」としました。			
		効率性		●			より経済的な整備方法を検討し事業実施することで、将来にわたり整備効果が得られることから「3」としました。			
公平性	●				通学路を通行する児童のみならず、沿線住民など歩行者全体の安全・安心な通行が確保できることから「4」としました。					
事業の課題 今後の方向性		項目評価のとおり、おおむね目的に適った事業が展開できています。本事業は、通学路の交通安全対策として非常に有効であることから、今後も引き続き、計画的かつ効率的に取組を実施してまいります。						事業終了の 予定の有無		
								無		
特記事項										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号 08020206

事業名		道路メンテナンス補助事業			担当部署	都市建設部 道路建設課				
根拠法令		道路法								
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価			
	予算・決算額(A)	598,000	595,386	451,100			<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>			
	(A)の内訳	国道支出金	271,800	271,800				260,700		
		地方債	277,400	274,300				150,100		
		その他								
		一般財源	48,800	49,286				40,300		
	人件費(B)	30,746	30,746	30,746						
	事業費計(A+B)	628,746	626,132	481,846						
事業の目的		<p>快適で潤いのある都市生活と活発な社会・経済活動に欠かすことのできない道路交通網の整備を、高齢者の増加など社会情勢の変化や、新たな利用ニーズに配慮しながら促進するほか、老朽化が進む橋梁の健全度を把握しながら、効率的・計画的な改築・修繕を行い、安全・安心な道路交通網を確保します。</p>								
事業の内容 SDGs17の目標		<p>橋梁長寿命化 事後対応型の管理から予防保全型の管理へ転換することで、架け替えなどにかかるライフサイクルコストの縮減を図りました。</p>								
		【整備前】		【整備後】						
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R5年度	R6年度		
		橋梁長寿命化・耐震補強			橋	1	3	3		
項目評価		高 → 低		評価の理由						
		4	3	2	1					
有効性		●				老朽化が進む橋梁を計画的に改築・修繕を行うことで、安全・安心な道路交通網が確保できることから「4」としました。				
効率性			●			より経済的な整備方法を検討し事業実施することで、将来にわたり整備効果が得られることから「3」としました。				
公平性		●				すべての利用者にとって、安全・安心な道路交通網が確保できることから「4」としました。				
事業の課題 今後の方向性		<p>項目評価のとおり、おおむね目的に適った事業が展開できています。本事業は、市民の安全・安心な道路交通網を確保する手段として非常に有効であることから、今後も引き続き、計画的かつ効率的に取組を実施してまいります。</p>						事業終了の 予定の有無		
								無		
特記事項		決算額については、道路メンテナンス補助事業【繰越明許】の事業費を含んでいます。								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 03河川費

目 02河川改良費

事務事業番号 08030201

事業名		単独事業（河川整備事業）		担当部署	都市建設部 維持課			
根拠法令		河川法、苫小牧市普通河川管理条例						
予算・決算 （千円）	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価	
	予算・決算額(A)	182,016	180,902	190,000			<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>	
	(A)の内訳	国道支出金						
		地方債	157,600	155,800				146,700
		その他						
		一般財源	24,416	25,102				43,300
		人件費(B)	26,637	26,637				26,637
	事業費計(A+B)	208,653	207,539	216,637				
事業の目的		安全・安心な市民生活を確保するため、河川管理施設の保全や環境整備を実施することにより、老朽化した護岸の改良や水辺に親しめる施設整備を行います。						
事業の内容		<p>1 護岸改良工事 河川の増水時に、隣接する道路などの崩壊を招く恐れがあるため、老朽化した護岸を改良します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>整備前</p> </div> <div style="font-size: 2em; color: blue;">➡</div> <div style="text-align: center;">  <p>整備後</p> </div> </div> <p>2 環境整備工事 水辺に親しめる施設を整備します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>整備前</p> </div> <div style="font-size: 2em; color: blue;">➡</div> <div style="text-align: center;">  <p>整備後</p> </div> </div>						
SDGs17の目標		 						
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度	
		護岸改良		河川	4	4	4	
		環境整備		河川	2	1	1	
項目評価		高 → 低		評価の理由				
		4	3	2	1			
有効性		●				集中豪雨などによる浸水被害などを防止・軽減し、緑豊かな水辺空間を創出するなど、市民の安全・安心な生活に大きく寄与していることから、「4」としました。		
効率性		●				河川等の規模に応じて必要な機能を確保することはもとより、経済的な整備方法を検討して事業展開していることから、「4」としました。		
公平性		●				河川周辺の居住者や利用者などの要望を踏まえ、パトロールを実施し、老朽化等への対策の要否や重要度を判断したうえで事業を展開していることから、「4」としました。		
事業の課題 今後の方向性		<p>評価のとおり概ね目的に適った事業を展開できています。 今後も引き続き、護岸整備や河道しゅんせつなどを行い、河川の流下能力を確保するとともに、水辺に親しめる施設整備を行うことで、より一層の安全・安心で身近な河川となるよう整備を進めてまいります。</p>					事業終了の 予定の有無 <div style="text-align: center; font-size: 1.5em;">無</div>	
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 01都市計画総務費

事務事業番号 08040101

事業名		地籍調査事業		担当部署	都市建設部 開発管理課				
根拠法令		国土調査法							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価		
	予算・決算額(A)	9,253	9,251	25,578			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>		
	(A)の内訳	国道支出金	5,694	5,694				17,163	
		地方債							
		その他							
		一般財源	3,559	3,557				8,415	
	人件費(B)	11,523	11,523	11,523					
	事業費計(A+B)	20,776	20,774	—					
事業の目的		国土調査法に基づき当該地籍調査を効率的に進めるため、先行的に街区境界調査を行い、道路や水路等（以後、長狭物）と接する土地について所有者や地番の調査を行うとともに、その土地と長狭物とが接する部分の境界に関する測量を行い、成果については法務局へ送付するほか市のホームページで公表し、大規模災害から迅速に復旧・復興を図る上で有効に活用します。また、課税の適正化及び公共事業や土地取引を円滑に進めるためなどに利用されます。							
事業の内容 SDGs17の目標		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> </div> <ol style="list-style-type: none"> 永福町及び日吉町2・3丁目の各一部地区の地籍調査（街区境界調査）について、調査結果に基づき地権者と境界の確認を行いました。 地籍調査について、市民周知を図るためにパンフレットを作成し、苫小牧市が管理する各施設で配布しているほか、調査対象地区の地権者へ事業説明をする時に配布しております。 							
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度			
		地籍調査事業（街区境界調査）	地区	1	1	1			
				小糸井町	永福町及び日吉町	永福町及び日吉町			
		地籍調査実施地区内筆数	筆	112	803	803			
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性		●				本事業を進めることは、本地区で大規模災害がおこった場合などに事業成果を活用し迅速に復興・復旧を図ることができると考えていることから「4」としました。			
効率性		●				公共基準点を活用するため新たな基準点を設置せずに測量が出来ることや、地権者や町内会へ、パンフレットを活用し直接説明することで地籍調査への理解が高まると考えていることから「4」としました。			
公平性		●				調査対象区域を140地区に分け、調査の緊急性や必要性などに基づき全体計画を作成し、事業を進めていることから「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		今後地籍調査を円滑に進めるためには、地権者を含む住民理解が不可欠であることから、パンフレットやホームページなどを活用し地域住民などへ周知を図っていきたいと考えています。					事業終了の 予定の有無 無		
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 03公園整備費

事務事業番号 08040301

事業名		社会資本整備総合交付金事業（公園整備事業）			担当部署	都市建設部 緑地公園課					
根拠法令		都市公園法									
予算・決算 （千円）	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価				
	予算・決算額(A)		229,231	220,310	193,887			A			
	(A)の内訳	国道支出金	99,114	99,114	80,000						
		地方債	106,400	85,200	94,200						
		その他									
		一般財源	23,717	35,996	19,687						
	人件費(B)		14,404	14,404	14,404						
	事業費計(A+B)		243,635	234,714	208,291						
事業の目的		潤いと安らぎに満ちた美しい都市空間を創出し、誰もが安全・安心に利用できる公園の整備を進めます。									
事業の内容 SDGs17の目標		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>改修前</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>改修後</p> </div> </div>									
実施結果 (活動指標)		指標名				単位	R4年度	R5年度	R6年度		
		公園再整備数				か所	12	9	12		
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●				公園の再整備を進めることで、誰もが安全・安心に利用できる公園環境が確保されるため、「4」としました。					
効率性		●				公園の再整備には多額の費用を要するが、計画的に実施することでライフサイクルコストの縮減が図られるため、「4」としました。					
公平性		●				市内一円の老朽化が進行している公園から順次、再整備を進めており、地域を限定せずに安全・安心に利用できる公園環境を確保しているため、「4」としました。					
事業の課題 今後の方向性		項目評価のとおり、おおむね目的に合った事業を展開できていますが、今後の人口減少を踏まえた公園の再編や統廃合を考慮しながら実施していきたいと考えています。						事業終了の 予定の有無			
								無			
特記事項											

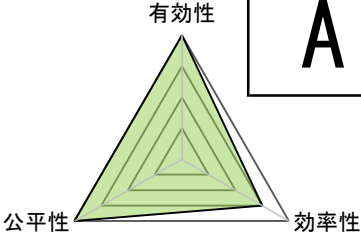

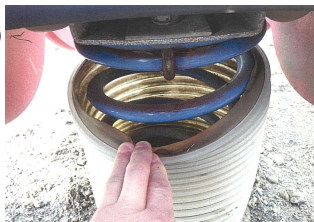

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 03公園整備費

事務事業番号 08040302

事業名		単独事業（公園整備事業）		担当部署	都市建設部 緑地公園課							
根拠法令		都市公園法										
予算・決算 （千円）	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価					
	予算・決算額(A)	54,984	53,470	70,155			<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">A</div>					
	(A)の内訳											
	国道支出金											
	地方債	21,800		29,100								
	その他	5,000	4,994	5,000								
	一般財源	28,184	48,476	36,055								
人件費(B)	7,922	7,922	7,922									
事業費計(A+B)	62,906	61,392	78,077									
事業の目的	市民の憩いやコミュニティ活動などの場を創出するため、公園施設の更新・補修を計画的に行い、誰もが安全・安心に利用できる公園の維持管理を行います。											
事業の内容 SDGs17の目標 	<p>公園施設の更新・補修を行いました。</p> <p>1 遊具更新</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  ⇒  </div> <p>2 遊具補修 (部材の補修)</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  ⇒  </div>											
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度						
	遊具更新基数		基	12	8	15						
	遊具補修工事		公園	25	54	93						
項目評価	高 → 低			評価の理由								
	4	3	2					1				
	有効性	●								公園施設の更新・補修を行うことは、誰もが安全・安心に公園を利用するためには必要な事業であるため、「4」としました。		
	効率性		●							点検結果に基づき更新・補修を行っているが、一部使用中止の措置を行っている遊具があるため「3」としました。		
公平性	●				市内全域において、更新及び補修を行っているため、「4」としました。							
事業の課題 今後の方向性	今後も、老朽化が進む公園施設の増加が見込まれることから、本事業を継続的に実施し、誰もが安全・安心に利用できる公園の維持管理を行います。						事業終了の 予定の有無					
							無					
特記事項												

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 03公園整備費

事務事業番号 08040303

事業名		再編関連訓練移転等交付金事業		担当部署	都市建設部 緑地公園課		
根拠法令		都市公園法					
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価	
	予算・決算額(A)	30,580	30,580	-			
	(A)の内訳	国道支出金	27,700	27,700			
		地方債	2,100	2,100			
		その他					
	一般財源	780	780				
	人件費(B)	5,041	5,041	-			
事業費計(A+B)	35,621	35,621	-				
事業の目的		地域住民の健康増進等の場となる沼ノ端南14号公園の新規整備や植苗ファミリー公園の休憩施設設置を行います。					
事業の内容 SDGs17の目標		沼ノ端南14号公園の新規整備、植苗ファミリー公園のシェルター整備を行いました。					
		沼ノ端南14号公園  着工  完成		植苗ファミリー公園  完成			
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度	
		沼ノ端南14号公園整備	公園	-	-	1	
		植苗ファミリー公園シェルター設置	基	-	-	1	
項目評価		高 → 低	評価の理由				
		4 3 2 1					
有効性		●	新規公園や休憩施設の整備により、地域住民の健康増進等に効果が得られ、地域要望を反映した内容となったことから、「4」としました。				
効率性		●	事業実施により、将来にわたってその効果が得られることから、「4」としました。				
公平性		●	本事業については、対象地域が限定されていることから、「3」としました。				
事業の課題 今後の方向性		主に市内東部において、公園整備に対する地域要望に応じていきたいと考えています。				事業終了の 予定の有無	
						無	
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 03公園整備費

事務事業番号 08040304

事業名		勇の原公園整備事業			担当部署	都市建設部 緑地公園課			
根拠法令		都市公園法							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価		
	予算・決算額(A)		187,400	178,580	162,030			A	
	(A)の内訳	国道支出金	43,500	43,500	43,000				
		地方債	88,500	2,100	72,700				
		その他	19,200	16,720	16,000				
		一般財源	36,200	116,260	30,330				
	人件費(B)		7,202	7,202	7,202				
	事業費計(A+B)		194,602	185,782	169,232				
事業の目的		ウトナイ地区の人口増加に伴い、新規公園整備を強く望まれていることから、地区公園「勇の原公園」の整備を進めます。							
事業の内容 SDGs17の目標		駐車場（メイン・サブ）、自転車練習コース、サブトイレ、四阿の整備を行いました。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【整備状況】</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【勇の原公園計画平面図】</p> </div> </div>							
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度		
		公園整備面積		ha	-	-	0.49		
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性		●				地域要望を反映した整備内容を実施できていることから、「4」としました。			
効率性		●				事業実施により、将来にわたってその効果が得られることから、「4」としました。			
公平性		●				地区公園が適正に配置されることから、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		勇の原公園整備は地域から早期完成を望まれています、事業費が大きく、長期の整備期間を要します。 このため、さまざまな財源を活用し、早期完成に向けて進めていきたいと考えています。					事業終了の 予定の有無		
							有 (令和10年度)		
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040401

事業名		森林整備事業		担当部署	都市建設部 緑地公園課				
根拠法令		森林法							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	6,475	4,924	17,663				<div style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">A</div>	
	(A)の内訳	国道支出金	2,460	1,543					1,415
		地方債							
		その他	2,343	2,343					15,039
		一般財源	1,672	1,038					1,209
	人件費(B)	1,403	1,403	6,905					
	事業費計(A+B)	7,878	6,327	24,568					
事業の目的		市民の身近な森林である高丘森林公園のレクリエーション施設を維持するほか、市内の森林において、二酸化炭素の吸収や国土の保全など多面的機能を発揮させることを目的とします。							
事業の内容 SDGs17の目標		<ol style="list-style-type: none"> 高丘森林公園施設修繕工事 園路の階段を修繕しました。 苫小牧市豊かな森づくり推進事業 民有林の造林に対し、森林所有者へ助成しました。 							
		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【高丘森林公園施設修繕工事】</p> <p>着工前 → 完成</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【豊かな森づくり推進事業】</p> <p>造林後</p> </div> </div>							
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度		
		高丘森林公園の施設修繕			階段	階段	階段		
		苫小牧市豊かな森づくり推進事業		ha	11	13	10		
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性		●				高丘森林公園整備や造林に対する助成の取組は、森林の有する多面的機能を発揮させることに寄与しているため、「4」としました。			
効率性		●				造林は森林経営計画に基づき適切に実施されていることから、「4」としました。			
公平性		●				森林の有する多面的機能は市民が平等に恩恵を受けるものであることから、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		令和7年度から、森林環境譲与税基金活用事業と統合しました。 森林環境譲与税を財源とする森林経営管理法に基づく事業は、森林所有者の意向により事業内容が決まるため、精度の高い意向調査が必要ですが、所有者が不明であるなど、森林所有者の意向が確認できないことがあります。 森林所有者の意向を確実に確認するため、他市町村の先行事例も参考に実施したいと考えています。					事業終了の 予定の有無		
							無		
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040402

事業名		緑の基本計画事業		担当部署	都市建設部 緑地公園課				
根拠法令		都市緑地法							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)		7,200	6,150			7,200		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他	4,700	3,699			4,700		
		一般財源	2,500	2,451			2,500		
	人件費(B)		2,233	2,233			2,233		
事業費計(A+B)		9,433	8,383	9,433					
事業の目的		緑地の保全及び緑化の推進に関して定めた「緑の基本計画」に基づき、緑のまちづくりにおいて町内会やボランティア団体が行う緑化への助成など、緑化の保全と推進を目的とします。							
事業の内容 SDGs17の目標		<ol style="list-style-type: none"> 町内会等緑化推進事業・緑化推進基金活用事業 町内会や緑化活動団体に対して、緑化資材の提供や助成を行いました。 市民植樹祭準備業務 市民参加の植樹祭を開催するにあたり、植樹の準備を行いました。 樹木リサイクル事業 伐採した街路樹を活用し、うちわを制作しました。 							
		【緑化推進基金活用事業】		【市民植樹祭】		【樹木リサイクル事業】			
		実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度	
		町内会等緑化推進事業、緑化推進基金活用事業		団体		22	28	33	
市民植樹祭準備業務（植樹本数）		本		151	130	150			
樹木リサイクル事業				コースター	ペン立て	うちわ			
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性		●				花や緑を通じて地域の人との繋がりや本市の環境美化に貢献する取組であり、また、持続可能な樹木の活用を伝える有効的な事業であるため、「4」としました。			
効率性		●				資材や木材の製材化には費用を要しますが、市民参加の活動であり、また木材は持続可能な資源であることから、「4」としました。			
公平性		●				市民が自由に参加できる取組であり、分け隔てなく事業を実施したことから、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		目的に沿った事業を進めることができ、引き続き緑化の保全と推進に取り組んでいきたいと考えています。					事業終了の 予定の有無		
							無		
特記事項									

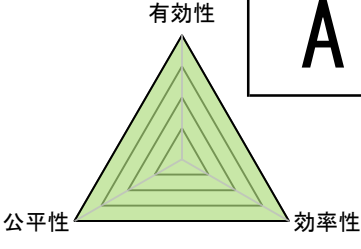


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040403

事業名		市有林整備事業		担当部署	都市建設部 緑地公園課				
根拠法令		森林法							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	7,960	7,228	6,130				<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>	
	(A)の内訳	国道支出金	5,100	4,637					3,876
		地方債							
		その他	2,860	2,591					2,254
		一般財源							
	人件費(B)	1,080	1,080	1,080					
事業費計(A+B)	9,040	8,308	7,210						
事業の目的	<p>本事業は、森林はゼロカーボンシティの実現に向けた貴重な二酸化炭素の吸収源であるほか、木材などの物質生産機能や国土の保全など多面的な機能を有していることから、市有林を守り、育て、活かすために整備するものです。</p>								
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 美沢市有林造林業務 A=6ha 美沢市有林下刈業務 A=16ha 森林の保育（野ねずみ駆除） A=71ha <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>【美沢市有林造林業務】</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【美沢市有林下刈業務】</p>  </div> </div>								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度			
	森林施業(造林・下刈・地拵)		ha	10	26	22			
		森林保育(野ねずみ駆除)		ha	56	66	71		
項目評価	高 → 低		評価の理由						
	4	3					2	1	
	有効性	●				市有林を整備する取組は、本市にある森林の有する多面的機能を発揮させることに寄与しているため、「4」としました。			
	効率性	●				市有林の森林経営計画に基づき着実に実行されたことから、「4」としました。			
公平性	●				森林の有する多面的機能は、市民が平等に恩恵を受けるものであることから、「4」としました。				
事業の課題 今後の方向性	目的に沿った事業を展開できていることから、引き続き、計画的に着実に取り組んでいく必要があると考えています。					事業終了の 予定の有無			
						無			
特記事項									

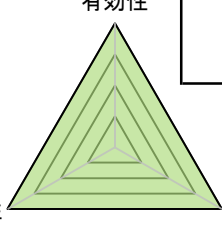

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040404

事業名		森林環境譲与税基金積立金		担当部署	都市建設部 緑地公園課						
根拠法令		苫小牧市森林環境譲与税基金条例									
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価				
	予算・決算額(A)	55,097	53,915	59,269			<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>				
	(A)の内訳	国道支出金									
		地方債									
		その他	97	89				269			
		一般財源	55,000	53,826				59,000			
	人件費(B)	360	360	360							
事業費計(A+B)	55,457	54,275	59,629								
事業の目的	森林の整備及びその促進に関する施策の財源に充てるため、譲与される森林環境譲与税を基金に積立てます。										
事業の内容 SDGs17の目標	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">  </div> <div style="margin-right: 10px;">  </div> <div> <p>令和5年度末基金残高 127,690,689円</p> <p>令和6年度基金積立金 53,914,730円</p> <p>令和6年度基金取崩し額 22,314,896円</p> <p>令和6年度末基金残高 159,290,523円</p> </div> </div>										
実施結果 (活動指標)	指標名			単位	R4年度	R5年度	R6年度				
	基金の年度末残高			千円	92,796	127,691	159,291				
項目評価	高 → 低				評価の理由						
	4	3	2	1							
	有効性	●							温室効果ガスの吸収源になる等の多面的機能を有する森林の整備の推進に活用する基金であることから、「4」としました。		
	効率性	●							譲与金を計画的に将来の事業に充てることのできるため、「4」としました。		
公平性	●				災害に強い森林への整備に充てていく基金であり、全市民に恩恵のある事業であることから、「4」としました。						
事業の課題 今後の方向性	森林整備事業以外にも、普及啓発や木材利用の促進などにも充当できるよう、関係部署と協議し、森林の有する公益的機能に関する事業に活用していきたいと考えています。						事業終了の 予定の有無				
							無				
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040405

事業名		森林環境譲与税基金活用事業		担当部署	都市建設部 緑地公園課				
根拠法令		森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律、森林経営管理法							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	3,608	3,485	-				<div style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">A</div>	
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他	3,608	3,485					
		一般財源							
	人件費(B)	5,502	5,502	-					
事業費計(A+B)	9,110	8,987	-						
事業の目的	森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律に規定する森林の整備及びその促進に関する施策に要する経費の財源に充てるために設置された苫小牧市森林環境譲与税基金を有効に活用することを目的とします。								
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p>   <p>1 森林経営管理権集積業務 経営管理されていない森林の整備に向け、森林経営管理制度に基づき調査した森林所有者の意向を基に、経営管理権を集積しました。</p> <p>2 木育助成事業 木育活動を行う団体に対し、助成を行いました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【森林経営管理権集積業務】</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【木育助成事業】</p>  <p>[親子で森づくり] [森の子ひろば]</p> </div> </div>								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度			
	森林経営管理（意向調査）		ha	11.0	2.2	4.6			
	森林経営管理（経営管理権集積）		ha	-	1.2	2.0			
	木育助成事業		団体	-	2	3			
項目評価	高 → 低		評価の理由						
	4	3	2	1					
有効性	●				民有林を整備する取組は、本市にある森林の有する多面的機能を発揮させることに寄与しているため、「4」としました。				
効率性		●			森林経営管理法に基づく事業は、モデル地区において検証しながら実施しているため、今後より効率よくできると思われることから「3」としました。				
公平性	●				森林の有する多面的機能は、市民が平等に恩恵を受けるものであることから、「4」としました。				
事業の課題 今後の方向性	令和7年度から、森林整備事業と統合します。					事業終了の 予定の有無			
						有 (令和6年度)			
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040406

事業名		緑化推進基金積立金		担当部署	都市建設部 緑地公園課										
根拠法令		苫小牧市緑化推進基金条例													
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価								
	予算・決算額(A)	4,180	4,180	1,300			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>								
	(A)の内訳	国道支出金													
		地方債													
		その他	4,180	4,180				1,300							
		一般財源													
	人件費(B)	360	360	360											
事業費計(A+B)	4,540	4,540	1,660												
事業の目的	本市の緑化を推進する事業等の財源に充てるため、市有林の立木売却収入や寄附金等を積立てます。														
事業の内容 SDGs17の目標	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> </div> <div style="margin-right: 10px;"> </div> <table border="0"> <tr> <td>令和5年度末基金残高</td> <td>88,427,235円</td> </tr> <tr> <td>令和6年度基金積立金</td> <td>4,180,000円</td> </tr> <tr> <td>令和6年度基金取崩し額</td> <td>6,229,329円</td> </tr> <tr> <td>令和6年度末基金残高</td> <td>86,377,906円</td> </tr> </table> </div>							令和5年度末基金残高	88,427,235円	令和6年度基金積立金	4,180,000円	令和6年度基金取崩し額	6,229,329円	令和6年度末基金残高	86,377,906円
令和5年度末基金残高	88,427,235円														
令和6年度基金積立金	4,180,000円														
令和6年度基金取崩し額	6,229,329円														
令和6年度末基金残高	86,377,906円														
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度									
	基金の年度末残高		千円	95,536	88,427	86,378									
項目評価	高 → 低				評価の理由										
	4	3	2	1											
	有効性	●							温室効果ガスの吸収源になる等の多面的機能を有する森林の整備や花植え等の環境美化活動の財源に充てており、安全・安心で、美しいまちづくりに寄与していることから、「4」としました。						
	効率性	●							寄附金などを効率的に将来の事業に充てることのできるため、「4」としました。						
公平性	●				温室効果ガスの吸収源になる等の多面的機能を有する森林の整備やまちの環境美化の財源に充てている事業であり、全市民に恩恵のある事業であることから、「4」としました。										
事業の課題 今後の方向性	木材売却と寄附金により成り立っている基金であり、安定的な積立金が見込めないことから、収支のバランスに配慮して事業を進めていくことが肝要であると考えます。					事業終了の 予定の有無									
						無									
特記事項															

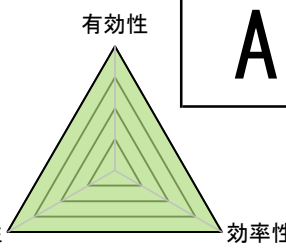

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 05市営住宅費

目 02住宅建設費

事務事業番号 08050201

事業名		住宅建設事業		担当部署	都市建設部 住宅課				
根拠法令		公営住宅法、住宅地区改良法							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価		
	予算・決算額(A)	1,613,149	1,572,847	2,347,411			<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>		
	(A)の内訳	国道支出金	797,960	774,319				932,034	
		地方債	673,300	658,800				1,239,200	
		その他		89,505					
		一般財源	141,889	50,223				176,177	
	人件費(B)	18,105	18,105	18,105					
	事業費計(A+B)	1,631,254	1,590,952	2,365,516					
事業の目的		市営住宅の老朽化に伴い、建替え等による住環境の整備が急務となっている中で、少子高齢化の進行や人口減少など社会情勢の変化に配慮しながら、良質で快適な生活を営める住環境を整備します。							
事業の内容 SDGs17の目標 		<ol style="list-style-type: none"> 日新団地における新築住宅の建設・既存住宅の解体等 <ol style="list-style-type: none"> 日新団地の9棟目（日新町4-4-20 新2号棟3F24戸）が完成し、供用開始するとともに、10棟目（新1号棟3F24戸）の建設に着手しました。 日新町4-4-7（5F30戸）の解体を行いました。 日新団地における新築及び解体実施設計 <ol style="list-style-type: none"> 令和7年度に着工予定の新3号棟（3F30戸）の新築実施設計を行いました。 令和7年度に解体予定の日新町4-4-6、4-4-8（計70戸）の解体実施設計を行いました。 末広団地における既存住宅の解体 <ol style="list-style-type: none"> 末広町1-12-1（13F294戸）の解体に着手しました。 光洋・日吉団地における解体実施設計 <ol style="list-style-type: none"> 令和7年度に解体予定の光洋町3-12西（8棟32戸）の解体実施設計を行いました。 							
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度		
		建設住宅		戸	30	60	24		
		解体住宅		戸	80	100	324		
項目評価		高 → 低				評価の理由			
		4	3	2	1				
		有効性	●				建替事業の実施は、老朽化住宅の解消と管理戸数の適正化が同時に実現するなど即効性が高く効果的であるため、「4」とします。		
		効率性	●				財源として国庫補助や地方債を最大限活用して事業を実施しているため、「4」とします。		
公平性	●				建替え等の計画や、今後の目標管理戸数を「苫小牧市営住宅整備計画」として公表し、市民の理解を得られているため、「4」とします。				
事業の課題 今後の方向性		建替事業は概ね計画どおりに進捗しており、老朽化住宅の解消が図られ、国費の効果的活用も図っています。今後の社会情勢の変化を見据えた適正な管理戸数に向け、各事業を着実に実施していきます。					事業終了の 予定の有無		
							無		
特記事項									

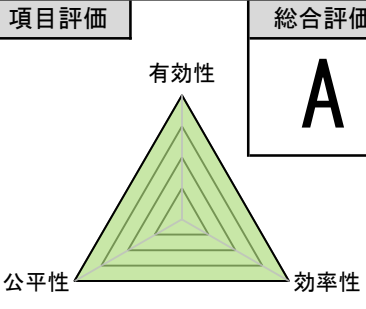

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 05市営住宅費

目 02住宅建設費

事務事業番号 08050202

事業名		除却事業		担当部署	都市建設部 住宅課						
根拠法令		公営住宅法、住宅地区改良法									
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価 有効性  公平性 効率性	総合評価 A					
	予算・決算額(A)	30,100	28,064	3,616							
	(A)の内訳										
	国道支出金	8,130	7,599								
	地方債	11,600	10,900								
	その他		9,565								
	一般財源	10,370		3,616							
	人件費(B)	5,041	5,041	5,041							
事業費計(A+B)	35,141	33,105	8,657								
事業の目的	安全面や今後の用地活用の観点から、老朽化が著しい市営住宅について、計画的な用途廃止・除却を行います。										
事業の内容 SDGs17の目標 	沼ノ端中央3-7-18、3-8-4（計7棟26戸）及び東開町6-1-20（7棟32戸）の解体実施設計を行いました。										
実施結果 (活動指標)	指標名			単位	R4年度	R5年度	R6年度				
	除却住宅			戸	0	0	0				
項目評価	高 → 低				評価の理由						
	4	3	2	1							
	有効性	●							除却事業の実施により、老朽化住宅の解消と管理戸数の適正化が図られているため、「4」とします。		
	効率性	●							国庫補助や地方債の対象となる事業についてはそれらの財源を最大限活用して実施しているため、「4」とします。		
公平性	●				安全性の確保及び老朽化した住宅の解消を基本方針として除却対象の住宅を設定し、今後の計画を公表しているため、「4」とします。						
事業の課題 今後の方向性	除却事業は概ね計画どおりに進捗しており、老朽化住宅の解消が図られています。国費を効果的に活用するとともに、地域や入居者等の状況の変化と事業計画との整合を適宜図りながら、円滑に事業を進めていきます。					事業終了の 予定の有無					
						無					
特記事項											

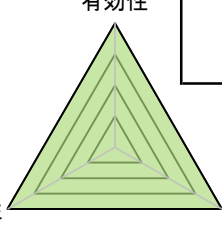

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 05市営住宅費

目 02住宅建設費

事務事業番号 08050203

事業名		住宅改善事業			担当部署	都市建設部 住宅課				
根拠法令		公営住宅法、住宅地区改良法								
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価				
	予算・決算額(A)	176,050	169,301	296,180		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>				
	(A)の内訳	国道支出金	79,367	76,759				83,474		
		地方債	79,300	76,700				101,800		
		その他		15,842						
		一般財源	17,383					110,906		
	人件費(B)	11,698	11,698	11,698						
	事業費計(A+B)	187,748	180,999	307,878						
事業の目的	市営住宅の多くで老朽化が進む中、今後も維持管理していく住宅については、入居者が安全・安心に暮らせるよう、計画的な改善・改修工事を行い、建物の長寿命化を図っていきます。									
事業の内容 SDGs17の目標	 <p>大成町市営住宅（1-11-1）東面外壁改修工事を行いました。（144戸）</p>									
実施結果 (活動指標)	指標名				単位	R4年度	R5年度	R6年度		
	改善・改修住宅				戸	90	238	144		
項目評価	高 → 低				評価の理由					
	4	3	2	1						
	有効性	●				今後も維持管理する住宅については、長寿命化計画に基づく改善事業を実施することにより、建物のライフサイクルコスト縮減に効果があるため、「4」とします。				
	効率性	●				財源として国庫補助や地方債を最大限活用して事業を実施しているため、「4」とします。				
公平性	●				建物の長寿命化や安全性確保等の事業計画を「苫小牧市営住宅等長寿命化計画」として公表し、市民の理解を得られているため、「4」とします。					
事業の課題 今後の方向性	市営住宅の老朽化が進む一方で、今後も多くの住宅を健全な状態で維持管理していく必要があることから、計画に基づく各事業を着実に実施していきます。						事業終了の 予定の有無			
							無			
特記事項										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 05市営住宅費

目 02住宅建設費

事務事業番号 08050204

事業名		熱供給設備等改修事業			担当部署	都市建設部 住宅課			
根拠法令		公営住宅法、住宅地区改良法							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価		
	予算・決算額(A)	9,781	9,493	9,936			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>		
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他		9,493					
		一般財源	9,781					9,936	
	人件費(B)	2,881	2,881	2,881					
事業費計(A+B)	12,662	12,374	12,817						
事業の目的	地域暖房・給湯を採用している市営住宅は、建設からの経過年数によって建物同様、熱供給設備の老朽化も進んでいます。入居者が安全・安心に暮らせるよう、修繕工事を行い、ライフラインの維持に努めていきます。								
事業の内容 SDGs17の目標	1 大成町暖房用埋設管取替工事を行いました。 (供給先) 大成町市営住宅(1-11-1) 144戸 大成町市営住宅(1-13-1) 98戸 2 大成町サブステーション内温水ポンプ取替工事を行いました。 (供給先) 大成町市営住宅(1-14-3) 210戸 大成町市営住宅(1-14-4) 168戸								
実施結果 (活動指標)	指標名				単位	R4年度	R5年度	R6年度	
	修繕対象				戸	737	697	620	
項目評価	高 → 低				評価の理由				
	4	3	2	1					
	有効性	●				設備の老朽化度合や不具合の状況を判断しながら実施しており、各住戸へ安定した暖房・給湯を行う効果があるため、「4」とします。			
	効率性		●			修繕工事により安定して暖房・給湯の供給が可能となるため、「3」とします。			
公平性	●				市営住宅の今後の整備方針については「苫小牧市営住宅整備計画」として公表し、市民の理解を得られているため、「4」とします。				
事業の課題 今後の方向性	項目評価のとおり目的にかなった事業を実施しており、引き続きライフライン維持のために必要となる修繕を実施していきます。						事業終了の 予定の有無	無	
特記事項									